

壽

令和五年の新春を迎え 聖壽の万歳と国運の隆昌を言祝ぎ 尊家ご一統様のご清福をお祈り申し上げます



発行所 No.289  
箱根神社社務所  
神奈川県箱根町元箱根80-1  
〒250-0522 電話 0460(83)7123

崇敬の念篤き皆様方のお蔭をもちまして、八期十年に亘る奉祝記念事業も昨秋恙無く完遂を迎える事が出来ました。洵に有難く厚く御礼申し上げます。

御守護いただく神々の新しい御神札を家の神棚に祀り、年神様から新しい歳(生命力)を授けられて、清々しく令和癸卯年をお迎えの皆様には、神棚と初詣の神々の御前



令和癸卯年 絵馬御守

に、神々に生かして戴いて今の自分がある事への感謝の真心を捧げ、いつも応援を受け、助けていただいている周囲の人々の幸福を祈り、ご自身とご家族への変わらぬ御加護を祈願なされた事と存じます。

ここで肝心なのは、祈願に続いて、「その願いが成就するために自分が為すべき、より具体的な事柄を、神様に誓って実践すること」です。ぜひ「目標として定めた新しい一年の計を成就するために」この誓願を進め行き、令和癸卯年を素晴らしい年に創り上げていただきたいと存じます。

めでたく迎えた「癸卯年」は「新機軸を打ち出す年」そして、開運の要点は「沈思黙考」と存じます。「癸」は、大地を潤す恵みの「水」を示し、静寂・思考・知恵・はらむ(生命を育む)・波乱等の意味を持つています。また十干の最後にあたり、生命の終わりを意味するとともに、次の新たな生命が成

長を始めている状態をも意味しています。「卯」は、陰性の「木」を示し、地上に出した双葉の姿を象徴して、温和・成長・向上・飛躍という意味があり、希望にあふれ、景気の回復・好転など、何かを始めるのには良い年と云われています。

「癸」と「卯」の組み合わせは昨年同様「水生木(水が木を育み成長させる)」の「相生」で、互いに相手を強める影響をもたらし、季節で云うと「癸」は冬ですが「卯」は夏に近い春で、草木が成長し、どんどん生い茂る季節。寅年で春が来て草木が生ずる状態から、辰年で草木の形が整つ

### 癸卯年の開運

た状態に至る間の年が卯年であり、これまでの努力が実を結び、より成長が進んで勢いよく飛躍する年になると云われます。

「癸」と「卯」双方の作用を受けて、ゆとりある安定した心で物事を見定められ、それによって旧態を一新する素晴らしい新機軸が次々に生まれ出る年となるものと期待します。そして、より成長・飛躍をもたらす思考形態は静寂・温和にして器におさまったの「沈思黙考」が最良と考えます。注意すべき点としては、波乱の

意も持つ水は一旦他からの衝撃による状況の急変が起きると、一気に行動性を爆発させて激しく荒れ狂い、すさまじい破壊力の發揮に至る事が上げられますが、ここは慌てる事無く準備に努め、くれぐれも「沈思黙考」の形勢で穏やかにお進みいただく事、成長の時だからこそ、当然その先をもしっかり考えて進めて行く事、更に結果が出ていなくても、より成長を目指してあきらめず事無く進めて行く事、が肝要と存じます。

このように「生命の源にして万物を生み育む」という大きな水の徳を高めて飛躍を目指す「癸卯年の運氣」をいただくには、広大無辺な恵みの水を産み出す「山の霊力」を司る「箱根大神」と産み出された「水の霊力」を司る「九頭龍神」との両社参りの誓願こそ最良の初詣と存じます。

皆様には、箱根大神・九頭龍神を始めとする八百萬の神々の大きな御加護のもと「沈思黙考」を念頭に精進・精励に努められ「新機軸を打ち出し」新たな歩みを進められて、令和癸卯年を素晴らしい年に創り上げ、心豊かにご発展なされますよう衷心より祈念申し上げます。(宮司小澤修二)